

麦の穂

NPO法人麦の会 

〒983-0834 仙師宮城野区松岡町17-1

TEL-FAX (022) 292-1279

E-mail muginokai@k5.dion.ne.jp
http://www.muginokai-koppe.com

題字 鎌田くん

東日本大震災から8か月・・・コッペの今

飯嶋茂

現在、おかげさまでコッペはほぼ日常を取り戻しています。秋になり、地元でのイベントも例年通りに行われはじめ、各地の皆さんから復興支援のご注文を頂き結構忙しい日々を送っています。1000年に一度の大地震が、自分が生きているときに起きるなど、今だに信じられないのが正直な気持ちですが、あの時のことを忘れないために振り返ってみたいと思います。

3月11日、14時46分、本当に長い揺れでした。

まだ、帰宅前の時間で発生したのでコッペのメンバーのほとんどが事業所に残っており、幸いしました。他の障害者事業所も同様です。早めに帰宅した障害メンバーが犠牲になった事業所もありましたが、津波の被害にあった事業所も含め、犠牲になった人は、障害者事業所では意外と少ない。沿岸部の事業所では、すでに送迎バスに乗っていたが、出発はしておらず、助かったところもありました。これが、もう少し遅い時間であれば、犠牲者はもっとでていたでしょうし、安否確認も大変だったことでしょう。

震災後のコッペ内部での話し合いでは、自宅住所・家族の連絡先を記した用紙を携帯すること。コッペの建物が大丈夫であれば、下手に動かずコッペにいることなどを確認しました。当然、コッペに泊まることも想定することとしました。

建物が危険と判断した時は、一次避難所（地元の中学校）に行くことにしますが、言われているように、障害のある人にとって現状の避難所は居やすい場所ではありません。それならば慣れ親しんだ場所にいる方が落ち着けることとなります。

現に事業所によっては、事業所そのものが避難所になったところもあります。

現在の福祉避難所は行くのにも手続きがいることを考えれば、可能であれば、障害者事業所をそのまま福祉避難所として機能してもいいのではないかと思います。

3月中は、余震がおさまらない、公共交通機関は不通、ガソリン不足等の理由から障害メンバーは基本的に自宅待機としました。ただ、近い人は来られる範囲で来てもらいました。もちろん、中には地震の直後から事業所を再開したところもありました。

スタッフは片付け。在庫のクッキーの販売。避難所にも届けました。電気・水道が復



旧した段階で、手に入る材料でパン・クッキーを生産し、店頭での販売を開始。コッペ始まって以来の行列ができました（スーパーが復活するまでの一時でしたが）。

4月に入って7日の大余震。夜中だったので、精神的にダメージが大きかったメンバーもいました。4月中旬になってやっと全員が復帰しました。何よりみんなで一緒に仕事ができることのありがたさを感じました。当たり前の日常を取りもどすことが、精神的な部分でも大切です。

みんなそろったところで、今度は、商売をどう復活させるかが当然問題になりました。地元での消費はまだまだ見込めません。卸し先も、イベント販売なども。そのため各地の知り合いに、買い支えてほしい復興市のお願いをしました。おかげで冒頭にも述べたように今は結構忙しい毎日です。コッペの商品だけではなく、他の事業所の商品の取りまとめもしていますが、これが中々大変です・・・正直言って。日ごろから、いざというときの仕組みを作っておく必要があります。

震災直後から各地の皆さんからの支援をいただきました。物資・カンパ・電話・メールでの励まし、実際に現地入りしての支援。コッペにもたくさんの方に来ていただきました。本当にありがたいです。

仙台市以外でもともと社会資源が少ない地域をどうしていくのか。外部支援がなくなっても地元の団体が引き継いでいけるのが今後の課題です。

現在頭を悩ませているのが放射能の問題です。県外の方を始め多くの問い合わせがあります。コッペの原料の小麦粉は、岩手の東日本産業から仕入れています。今年の12月までは、2010年度産の小麦粉が在庫としてあり、問題はありません。

来年からは、2011年度産の小麦になります。現在の見通しでは、青森産の小麦を中心に岩手・宮城産の小麦がブレンドされたものが原料として供給されます。

青森産のものはヨウ素・セシウムとも不検出という結果が出ています。岩手・宮城は国の指針により全ロットが検査され、国の基準（500Bq/kg）を超えたものは流通しないことになっています。しかし、それぞれの県のホームページでは、場所によりセシウムが60ベクレル/kgほど検出されている地点があります。それぞれの県とも、国の基準を大幅に下回っており安全が確認されていると報告されていますが。

この数字をどう見るか、非常に悩んでいます。

できることなら少しでも懸念のあるものは使いたくない。しかし、コッペが創業した1988年より、ずっと使い続けてきた小麦です。原料の小麦は、その品質で私たちのパン・クッキーを支えてくれました。地産地消、少しでも国内農業にも貢献したい、そういう思いもあります。

もちろん精麦されるわけですし、東日本産業も製品を自主検査することとしています。コッペとしても製品の自主検査をするつもりです。（公的検査機関に出すと一検体約2万かかります。）東日本産業の自主検査の結果を見ながら最終的には判断したいと思えますが、いずれにしても重い判断を迫られることとなります。

最後にお知らせを。震災前から検討していたのですが、コッペのホームページを新しくしました。アドレスは、<http://www.muginokai-koppe.com>です。どうぞ、見て下さい。



地震の事、忘れたいけど書きます。完結編

後藤 ゆかり

地震発生から6日目。相変わらず強い余震が続いている。そんな中、コッペは幸いライフラインがガス以外回復。みんなを呼びたいが、職員だけの再開となる。まずは大掃除からはじめる。随分静かな大掃除。いつもお正月の大掃除の時は、みやちゃんのお母さんが手作りカレーを差し入れてくれる。

タマネギがたっぷり入った激ウマカレー。みんな大掃除を楽しみにしている。みやちゃんは最近、元気にコッペショップに通えるようになった。エプロン姿が可愛い。地震で来られない間、体調を崩さないといいが…。地震の影響は計り知れない。今、食料不足が深刻だ。大勢の人が買い出しに追われている。戦時中を疑似体験しているようだ。コッペショップは避難しているスタッフが、地震発生時からずっと開店状態でいた。

皆、強い余震で眠れず目の下にクマが出来ている。お風呂にも入れない。全員遭難した登山家のような。余震はいつまで続くのだろう。

恐怖心を打ち消しながら、久しぶりに白衣に着替え作業場へ入る。大掃除の始まりだ。やらなきゃいけない事が山ほどある。

洗濯機の音が重たく響く。普段、騒がしさにかき消されていた音。こんなに大きな音だったのか…。みんなの声が無性に聞きたくなる。皆、今頃何をしているだろう。怖がっていないといいな……。

年季のはいった鉄板とパンなどを入れるばんじゅうを山ほど洗う。水は冷たい。しかし、ツライ事ばかりじゃない。この日から張さんが、私達のお昼を作ってくれた。張さんだけにちょ～美味い。震災後初のオヤジギャグも飛び出した。一気にテンションアップ。

荒木ちゃんが、何度も話していた。昔、張さんがカエルの唐揚げ(!?)をみんなに作ってご馳走してくれた。めちゃくちゃ美味かったそう。納得できた。

毎回野菜たっぷりのメニューが並ぶ。今、食材がなかなか手に入らない。野菜探しは特に大変だと思う。張さん本当にありがとう。

お米は、飯嶋氏が差し入れてくれた。

張さんの野菜たっぷりの美味しい料理と温かいご飯。余震の恐怖も半減する。コッペのみんながこれを読んだら、きっと大騒ぎになるだろう。目に浮かぶ。私も、みんなをダシに、張さんの真心のこもったご飯をまた食べてみたい。

よだれがマーライオンのように流れそうなので、コッペ再開の話に戻そう。再開初日。クッキーを力の限り焼いた。震災特価で販売する。作っても作っても片っ端から売れていく。甘い物はかなり貴重だ。



家電が壊れ、煮炊きが出来ない人も多い。我が家の炊飯器もふたがはずれそうだ。ロープで縛って使っている。日に日に縛り方がプロになってきた。

今ガソリン不足が深刻。一キロ先のガソリンスタンドから、コッペの前まで長蛇の列。並んでもなかなか手に入らない。

そんななか、荒木ちゃんと荒木パパが手伝いに来てくれた。震災後、荒木パパに販売を手伝ってもらう。私達は製造に専念出来て本当に助かった。

仕事が始まったとたん、一日はあっという間に過ぎた。いよいよパンを再開。良い香りが広がる。

強力粉とイースト菌の在庫が少ない。週明け届く予定だった粉が宅配便の倉庫でストップしている。すぐにでも取りに行きたいがガソリンがヤバい。

出来れば食パンを焼きたいところだが、丸パン4個入りを100袋作って販売する。材料の在庫と相談しながら、パンの種類を徐々に増やす。パンと平行して、クッキーも大量に焼いた。

後藤靖さん、祝子さん、事務の鳥海さん、家の近い阿部親方、同じマンションに住む二瓶さん、入江さんが徐々に仕事を再開。鳥海さんのマンションはエレベーターがまだ動かない。後藤宅に避難している。

祝さんは少ない食材の中、何種類もの温かい料理を作ってくれるそう。鳥海さんは感謝と共に、感心している。さすが祝子さんだ。

後藤宅に幸子さんのお母さんがせっせと水を運んでいる。親方母娘もショップに手伝いに来てくれた。心強い。日に日に賑やかになっていく。親方と荒木ちゃんが製造に加わり一気にコッペらしくなる。じゃれあう姿に癒やされる。

全ての人々が、話したい事が沢山ある。一気に気持ちが溢れ出している。

人はこうして気持ちを話し心を整理して、明日を迎える事が出来るのだろう。地震が来なければ、気付かなかったと思う。

パンの早番の順番を決める。一人でやる早番は怖い。いつも朝まで賑やかな隣のカラオケ屋さんも真っ暗だ。踏み切りも沈黙を守っている。

コッペに着いたらすぐ、避難経路を確保。余震の度、ひびだらけの建物はきしきしと音をたてる。鉄骨入ってるから大丈夫と自分に言い聞かせる。壁にぶら下げてある物が振り子のように揺れる。パンは生き物。何があっても手を休ませてはいけない。イースト菌はプクプクと元気に発酵している。

製造の合間に販売を手伝った。パンを喜んで買うお客様の姿は忘れられない。

今、パンはなかなか手に入らない。ましてや焼きたてパンは貴重だ。あっという間に売れていく。そんな中、お客様からお花を一輪いただいた。お花屋さんが開いていて、嬉しくて買ったバラの花。パンが買えて嬉しいと置いていってくれた。

パン屋になって良かった。

大阪のごらくさんから大量の美味しいオカキが届けられた。品薄の棚に何種類もの



オカキが並び一気にお店らしくなる。お客様も嬉しそうだ。

パンは連日飛ぶように売れ、開店前から長蛇の列。コッペに行列が出来るなんて。証拠写真を撮っておけば良かった。

てっちゃんもパンを買いにお母さんとやって来た。顔色も良く元気そうで安心した。いつもと変わらず、携帯とちびまるこちゃんの本を抱えている。昔、海でキャンプした時もそうだった。濡れやしないかハラハラした。懐かしい海は今、どうなっているのだろうか…

元旦那から、家は津波で崩壊と聞いていた。しかし、奇跡的に崩壊は免れていた。

(後々全壊指定になるが…) 全員でダチョウ倶楽部のように「きいてねえよ!!」とツッコミを入れた。片付けは大変だが何はともあれ、アルバムが無事で良かった…地震発生からしばらくして落ち着いた頃、元家にアルバムを取りに行った。津波の映像を見て覚悟はしていた。しかしパノラマで見せつけられた破壊しつくされた光景は涙も言葉も失った。私は子供の頃から妄想癖が強い。瓦礫の一つ一つにかつての姿を見てしまう。

横たわる曲がった子供の自転車。壊れた浴槽。つぶれたドア枠。折れた電柱。放置されてる車…がれきのすべてに持ち主がいる。

遠い昔の人が、津波の被害を免れるため、貞山堀と松林を海岸に作った。遠くから見ても跡形も無い。海から五キロ離れた防波堤になった、東部道路を境目に、天国と地獄。私は今地獄に立っている。

未曾有の大災害の中、家族とコッペのみんながいるから生きていられる。心底日常を早く取り戻したい。復興の度合いは場所によってかなり違う。コッペ近辺は恵まれている。

ガソリンスタンドの長い行列は日に日に短くなっていった。ガソリンの流通が回復するにしたいが、色々なものが動き出す。

コッペもガソリンが入ってすぐ宅配便の倉庫に粉を取りに行った。倉庫前は長蛇の列。全員それぞれ沢山のドラマを抱え荷物を受け取っている。

やっと食パンを焼く事が出来た。カマから出したキツネ色のふわふわ食パン。良い出来だ。熱いからやめとくが、ほおずりしたくなった。

パンを焼き始めてすぐ、取引先の皆さんに近況報告のご挨拶を兼ね電話をした。

地元の皆さんも頑張っている。

全国の方からの応援に涙が溢れた。心のこもった義援金も寄せられた。

沢山の人が心配して下さっている。再建して行く事が一番の恩返し。地道にパンとクッキーをみんなで作って行こうと改めて思った。

一部公共機関が開通。コッペも、自力で来られる人は4月から再開!とみんなに連絡を入れた。

よっちゃんは待ちきれずにフライングしてやって来た。東北本線はまだ不通。両親

が送り迎えをしている。地震発生時と同じように、テキパキと仕事をこなし、丁寧にホイロ掃除をしている。改めてよっちゃんの立派な仕事っぷりに感心する。摩耶ちゃんも自転車をこいで長町からやって来た。悪路のなか頼もしいかぎりだ。みんな元気いっぱい、嬉しくて仕方がない様子。私も嬉しくなる。パンとクッキーの配達も早々に始まった。でこぼこの道もみんなと一緒にだとピクニックのようだ。全員がそろそろ日が待ち遠しい。

地震発生以前からコッペは飯嶋氏が中心となり、他の施設の方と連携して、色々な活動をしていた。今回、その人脈の広さに救われた。飯嶋氏は地震発生後も更に走り廻っている。沢山の被災した仲間達、支援してくれる方々と一緒に。色々な支援活動もしながら仕事もいつものようにこなしている。他力本願は命取り。普段からわかっているから行動が早い。自分達がまずやらないと。支援の輪はどんどん広がっていった。

私がコッペに入って強く感じた事がある。コッペの人達は自分の世界をしっかり持っていて、芯がぶれていない。そして根っからの働き者。私はみしてくれとは反対にムチウチと喘息で年に何回か寝込んでしまう。一番弱いのは頭だ。

みんなが直面している問題は、当たり前だと思っていた事がまかり通らない。コッペに入る前から、おかしいと感じていた。

何度も政治的な思惑で方針が変わる。その度みんな、振り回されている。福祉の現場はかなり厳しい。

私はコッペで働く同じ劇団員の紹介でコッペに入った。正直、倒れそうになりながらも働く、彼女のサポートをしたくて入った。彼女は素敵な女優だった。

彼女は喘息持ちで体が弱い。朝早くから、夜遅くまでキツイ労働をこなしている。週末イベント販売が続くと死にそうになっている。更に給料も安い。志とみんなの笑顔に支えられ全力で走っている。心配になった。こんなに頑張っているのに…死なれたら困る。誘われるままコッペのパートになった。そして何年後退社した彼女に代わり社員になった。

ミイラ取りがミイラになった。そして、最近、娘②も私と同じ行動をとった。気質も体系も遺伝したな…と、感じた。

キツイ環境はみんなの家族も同じだ。

日々の生活だけでも大変なのに毎回変わる複雑な書類の数々を提出するだけでもしんどそうだ。

てっちゃんのお母さんが「障害者の親は頭が良くなきゃ、やっていけないわよ。」と、笑い飛ばしている。偉いと思う。

飯嶋氏も毎日走り廻っている。マラソンの距離も短距離走のスピードだ。みんな倒れないかハラハラしているが、止められ無い事をよく知っている。泳いでいないと死んでしまう魚のよう。前世は回遊魚だったに違いない。猛スピードで泳ぐスレン



ダーなサメ。小判鮫さえついていけない。同じスピードで泳いだら死んでしまう。私は群れの中で泳ぐ事にした。でも大丈夫。みんなで向かっている海は同じだ。コッペの仕事は厳しい。甘えちゃいけない。お客様は正直だ。一度買って美味くなければ次は買わない。油断をしてはみんなにお給料を払えない。みんなは厳しいコッペで、懸命に働いている。生きている。地震なんかには負けはしない。

いよいよ、4月1日コッペ完全復活を果たす。

新しい仲間のかまちゃん加わる。こんな環境からのスタート。心配していたが、最初から溶け込んでいる。

みんな、リアクションの違いはあるが、嬉しい気持ちは同じだ。

パン作りの上手な、さとちゃん。しばらく休んでいる間に腕が落ちるか心配だったが取り越し苦労だった。体が覚えている。さすがだと思う。

地震発生時、帰り道いびきをかいて寝ていたあつくんも嬉しそうにはにかんでいる。これからも、いっぱい伝説を作っていこうね。

一部公共機関が不通のすみちゃんは、地震発生1ヶ月後からの復帰となる。

みんなと再会した時の笑顔は忘れない。私に地震の時のお礼を言っている。私はまた泣きそうになる。地震の時と同じように、しっかりと抱きしめた。生きていてくれて、本当に良かった。

今、この原稿を地震発生半年後に、日記をみて書いている。

復興は場所によるが、着実に進んでいる。近くのレンタル屋の看板が、一部落ちて「UTAYA」になっていたがいつの間にか直してあった。近くの家電量販店は、4月7日の余震で更に壁も天井も落ちた。最近やっと再開した。

コッペは復興支援で方々から注文があり、クッキーが沢山売れて大忙し。有り難い事だ。この流れを今後はどうつなげるかが課題だ。

震災の影響で確実に地元のイベントや販売が減り、パンの売り上げは厳しい。地元の取引先もかなり撤退。厳しい現実だ。今からが正念場だと思っている。

地震の事、忘れたいけど書きました。書いた事により、気持ちの整理が出来ました。コッペの現状が赤裸々に伝えられたら幸いです。これからもみんなと一緒に精進していきます。コッペをどうぞよろしくお願い致します。

コッペの4コッペ達！全部手作り



Sumiちゃんの滋賀旅行レポート

今回は、3回目の飛行機の旅。
そして、梨沙ちゃんと初めての
2人旅です。飛行機が離陸
する時、ちょっとこわかった
けれど、空の上は青空で
とてもきれいでした。空港に
着いてから、バスにのって京
都駅まで行って、そこから電車で
大津駅まで行き、バスで、びわ
湖ホールまで行きました。

・ずっとあこがれてた米屋さんと
目の前で見て超ラッキーでした。

・夜は、交流会があつてとても楽し
かったです。(お江ちゃんといっしょに

ハイ、チーズ!! バッチリ写ってたヨロ)

2日目の朝

・早めに起きて、シャワー
をしてから、朝食を食べまし
た。(オムレツおいしかった)

・水族館に行って、魚を見て
来ました。いろんな魚がいっぱい
とてもきれいでした。

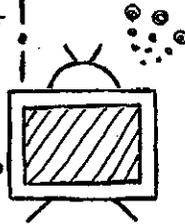


ちんぷん

先日、障害者プロレス「ODAZUNA(おだづな-)」の震災復興試合を見てきた二人。その時の様子を聞いてみよう



Q. NHKの『きらっといきる』の取材に入りましたね！ テレビにいろいろ映っててねって 言われましたか？



二人: 言われた〜
言われた〜

Q. リングアナウンサーをしていた！ “カンニング” 阿山さん”はいかがでしたか？

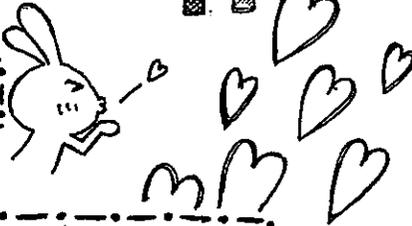
鎌ちゃん: 大ファンです♡

Q. 障害者プロレスを観に行ったのは！ 何回目？



親方: 2回目
鎌ちゃん: 初めて

Q. 楽しめましたか？



鎌ちゃん: 熱い戦いで楽しかったよ〜

Q. 極悪スラーが中継席に乱入して来た時、怖くなかった？

二人: 怖かった〜
逃けた
逃げた

Q. 飯島さんの実況中継はいかがでしたか？



二人: 最高



Q. イギリスから来たフロスラー
! マットフレイガーさん強かったよね!

二人: 竹山さん 遺らした
強かったあ〜

Q. 誰が一番好きですか?

二人: (即答) しんや!!
カッコイイ!!! (o_o)

Q. また観に行きたいですか? 

二人: 絶対観に行きたいです (o_o)

Q. 自分もリンクで戦いたいですか?

親父: 俺は司会がやりたい
鎌ちゃん: やりたい、やりたい (o_o)

ついでに、興奮して帰宅した二人のお母さんにも聞いてみよう



 親方母

カニエック、竹山さんと一緒にの写真と
サイン(飯島さんが立泳に加工して
くれました (o_o))を部屋に飾っています。

 鎌ちゃん母

サインと髪つかお丸めるところ
でした。
録画を毎日観ています。

今度は私もみんなを連れて観に行きたいと思いまあ〜す

インタロピアー
後藤(ゆかり)

コッペル『オバース』のポツリ

この日、バス停から一緒に帰ってくれたボラの犬内君
途中で帰るとの事……

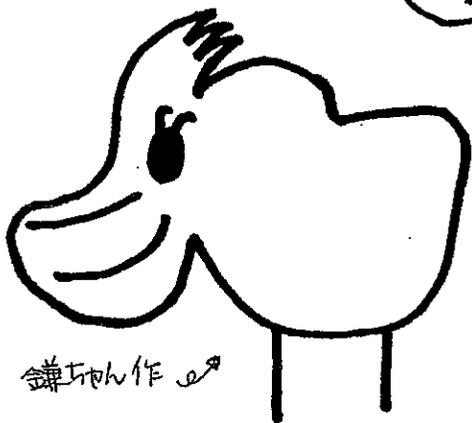
「今から バイトなんだってえ〜」

「忙しいんだねえ♡」

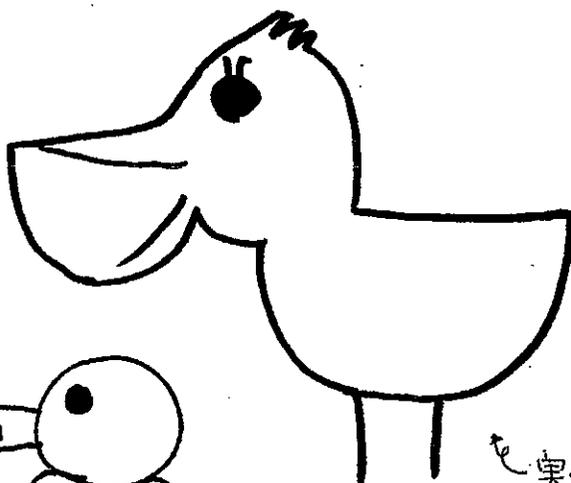
ボラの犬内君、ありがとうございました。
バイト がんばってネえ〜



麦の穂とタイム

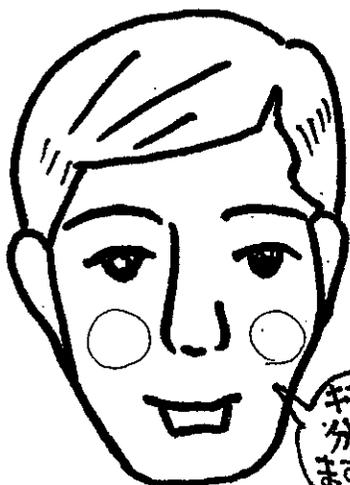
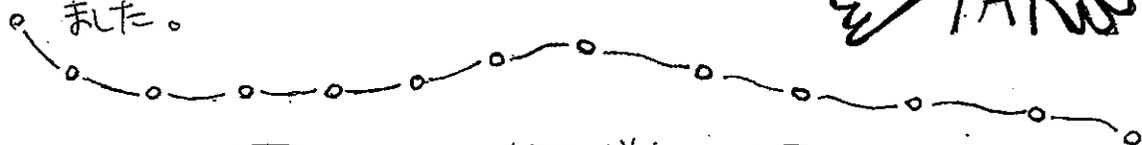
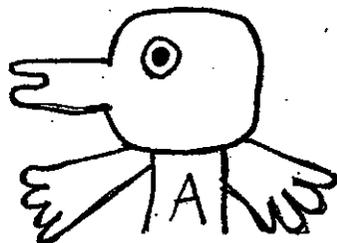
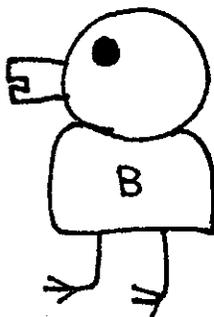


鎌ちゃん作 



実佐作 

新人・鎌ちゃんの“さらなる野望”は、『ペリカンパンを作る!!』です。そこで、まず絵を描く様にすめたところ、AとBを描いてから妹・実佐さんのペリカンをパクりました。



キーンと分けて
ますか?

ワケルくんの

ある日、鎌ちゃんの正面に座ったらセンター分けになっているのにビックリ!!
よく見たら抜毛した事かゆかきましたあ〜
抜毛歴は小1からなので、もはや

フコの技...

早くフサフサになってネ 



今日も抜いて
ますか?

カマルくん